

授業科目名	代表教員	コメント
言葉と文化	石平 光男	動画を使って明快で面白く、かつ社会に出て役立つ授業を行います。ただし、私語は厳禁！
国文学	藤瀬 礼子	国文学という専門と異なる教養科目でありながら、興味をもって発言・発表し、積極的に授業に参加してくれた。授業の中で他者の考えが聞けてよかったという声を耳にしたが、77名の履修者がそれぞれ主体性をもって学習に取り組んでいた。環境に関しては教室が狭いという意見が寄せられているので、配慮したい。
芸術表現Ⅱ(書道)	細谷 恵志	必修科目でありながら意欲が4.54という数値であり、これに比例するように私語もなく真面目に興味を持って積極的に取り組んでいた。教養科目の書術書道として人間教育、文化への理解などを主眼において今後も教育していきたい。
心理学(理・整)	橋本 和幸	・心理テストや心理学実験の実施を継続したい。
心理学(芸・看)	橋本 和幸	・振り返り用紙に書かれていた質問への回答を、一覧表にして次の授業で配布する取組は、好評のようなので今後も続けたい。 ・「人数が多い」「席が足りない」「狭い」という意見には配慮したい。
英語ⅠA(読解中心)	成田 篤彦	① 単語や文法の基礎知識を確実なものにしてください。 ② 教室で扱った英文を、構文と意味を考えながら何度も声に出して読んでください。それが最も効率的な学習法です。
英語ⅠA(読解中心)	磯野 達也	授業外での自主学習も含めて英語を読むための基礎的な力を身につけることを目標とした。重要表現、重要な文法事項について各授業で演習を行い、英文の構造に対する理解を高めることを目指した。ある程度目標は達成できたと考えているが、さらに扱う文法事項を系統立て、理解が高まるよう検討したい。
英語ⅠA(読解中心)	櫻井 裕子	学生は熱心に授業に取り組み、教員の意図する授業内容がほぼ達成できた。
英語ⅡB(表現中心)	磯野 達也	授業外での自主学習も含めて英語を読むための基礎的な力と基礎的な会話表現を身につけることを目標とした。重要表現、重要な文法事項について各授業で演習を行い、会話練習も時間をかけて行った。ある程度目標は達成できたと考えている。
現代生物学(芸・理・整)	青木 誠志郎	学生の皆さんのコメントを参考に、本授業では、皆さんにとって興味のある「医療」に関連した内容を積極的に取り入れたいと考えています。また配布プリントはもっと大きな字で、はっきりとしたものに改良し、授業内容は高等学校で生物や化学を履修しなかった方にも良くわかるものになりたいと考えています。
地域社会論	権 安理	受講者の欠席も少なく、総合評価も「5.00」と高かった。教養科目であることを意識して、今後も視覚教材や具体例を用いた、わかりやすく親しみやすい授業を心掛けていきたい。
社会福祉概論	松本 峰雄	もう少し、今の社会現象を理解してほしい。特に、少子高齢化の日本が置かれている状況を、マスコミ等を活用し、どのようにすればよいかを自分なりに考えてほしい。
スポーツ理論と実習Ⅰ(看)	越田 専太郎	体育実技科目は学生にとって体を動かす良い機会であるのみではなく、学生間のコミュニケーションを高める上でも良い効果をもたらしているようである。今後も施設面での充実を含めて、授業内容の改善に取り組んでいきたい。

授業科目名	代表教員	コメント
スポーツ理論と実習Ⅰ(芸・理)	野田 哲由	本授業に参加することで、学生がスポーツを楽しむ態度を身につけることができるような内容を今後も展開していく。また、単に身体を動かすだけでなく学生同士がお互いに良好なコミュニケーションをとれるように工夫する。
古名跡書論	藤瀬 礼子	本科目は中国の書論、日本の書論を講読し、自ら制作に役立てることに重点を当てた。受講生が一名であったので、漢和辞典を引きながら少しずつ、漢文を読み、各書論の内容を理解できたようである。美術系の学生でありながら考え方、能力、知識、技術などの向上に得るところがありましたか。という質問に5と回答している点は良かったのではないだろうか。
染色	高橋 榮一	伝統有る手加工の染色体験で身近な物を考え制作出来ます。(手拭、マフラー、ランチョンマット等)
和紙造形	谷中 武彦	参考作品やVIDEOの活用、個々の学生とのコミュニケーションの大切さ
茶道	朝倉 知恵子	学生の書き込みに、「教室がいまいち茶道という風では無かった」というのがありましたので、配慮したいと思います。
書	藤瀬 礼子	実用書の学習を中心に展開したが、字がうまくなった、大きくステップアップしたという実感があったことは大変いい点であると考えられる。
生化学	角田 純一	テキストをより分かりやすいものに変更します。 各単元で理解度をチェックする仕組みを取り入れて、学習の成果を自己評価出来る仕組みを取り入れてゆきます。
生理学Ⅰ(理)	増田 敦子	授業には教科書を必ず持参して、教科書を見ながら授業を聞きましょう。復習の際には教科書をじっくり読んでください。わからないことはどんどん質問してください。オフィスアワー以外でも、在室であれば、歓迎します。そして、小テストの準備は早めにやりましょう。日頃の小さな予習や復習をするという、毎日の小さな積み重ねが大事です。
生理学Ⅰ(整)	増田 敦子	授業には教科書を必ず持参して、教科書を見ながら授業を聞きましょう。復習の際には教科書をじっくり読んでください。わからないことはどんどん質問してください。オフィスアワー以外でも、在室であれば、歓迎します。そして、小テストの準備は早めにやりましょう。日頃の小さな予習や復習をするという、毎日の小さな積み重ねが大事です。
生理学実習(理)	増田 敦子	実習ははっきりわかっていることを教授する講義とは違い、決まった答えを求めないでください。得られた結果について深く考え、考えたことを日本語として筋道の通った文章で、そして、読んだ人がその内容がわかるような文章を書くことが大事です。
運動生理学実習	橋本 俊彦	解剖学や生理学的知見を基礎にした運動生理学的手法を用いて、運動時の生体反応に関する影響を呼吸・循環器系や代謝系の機能について体力測定の実際とデータ整理法を学習する。特に、運動能力を高めるためのトレーニング法、障害予防のトレーニング法等の基礎となる実習を行う
臨床心理学(理)	橋本 和幸	今後は、国家試験の出題範囲を分析して、単元ごとに模擬問題を出題するスタイルは踏襲しつつも、その年度を受講生の理解度に合わせ、授業のスピードを調整するようにしていきたい。
整形外科Ⅱ(理)	橋本 俊彦	整形外科Ⅰで学習した知識を基に、整形外科の各論について学習する。講義内容の要約プリントを毎回配布し、実際の臨床に沿ったレントゲン画像やMRI、手術の等の供覧を行う。

授業科目名	代表教員	コメント
運動器画像診断学	橋本 俊彦	身体所見から考えられる運動器疾患の病態について、画像診断を用いて確定診断を導き出すために、どのような画像診断の方法があるか、その内容、それらの基本的な読影法について講義する。一般的な運動器疾患の画像診断について読影可能になることを目標とする。
社会保障概論	高野 龍昭	視聴覚教材や、一般向けの書籍をテキストに用いるなど、関心を高める工夫を行った。これは今後も続けていきたい。しかし、私語は厳禁であるのがマナーであるし、居眠りも慎んでほしい。
医療面接・倫理学	石丸 圭荘	医療人として重要な診療録の作成などを学びますので、予習と復習が必要です。
人体構造・生理機能実習	佐々木 宏	実習は講義では得られない貴重な体験ができるのですが、その土台となる基礎知識がしっかりしていないと実習の効果は得られません。次年度より、希望者は実習における機会を設けます。ただし、実習先の容量を超える場合には、人体構造と機能・機能論Ⅰ・Ⅱの成績などを参考に人選します。
公衆衛生学	木内 一佳志	公衆衛生学は学問の性質上、知識の羅列になりがちである。そこで、可能な限り物語性を持たせ、自然な流れの中で知識が得られる授業を目指す。また、講義終了時には、基本的な国家試験問題が解けるよう、的を得た問題演習をあわせて行う。
芸術療法実技Ⅱ(書道)	細谷 恵志	自由記述には、心から癒されてとてもよかった、作品をうまい下手で評価しないところがうれしかったなど、芸術療法の観点を体感してもらえたのではないかと。今後も芸術療法の意義についてよく理解し、実際に筆を執ることについて考えてくれたことは良い点であったと考える。
運動学実習	加藤 宗規	4つの課題について実験およびレポート課題がありましたが、欠席も少なく、レポート課題は期限に遅れることなく提出され、今後の臨床教育実習にも活かされると考えます。ただし、文章作成が苦手な学生も目立つので、今後も他の科目において、その向上に努めると良いでしょう。
日常生活活動学実習	加藤 宗規	3グループに分けた少人数制での授業は好評の様でした。板書の字は大きめに書くようにはしますが、見えにくいようでしたら前に詰めてすわるようにすると今後は良いでしょう。
生活障害診断学	中村 浩	ICFの基本概念である「障害をプラスにとらえる」ことから生活障害を理解してください。まずは演習課題で示した「患者と介護者の関係づくり」や「摂食・嚥下障害における不良姿勢の改善」から学習を進めていきましょう。
神経系障害理学療法学演習	加藤 宗規	脳の解剖生理、脳血管疾患の基礎についての科目は履修済みであるため、積極的な自己学習が必要でしょう。教科書に沿って、レジュメも配布する形式では臨床には対応できないので、調べてまとめること、授業後に整理して復習することができるようにすると良いでしょう。
内部障害理学療法学実習	中村 浩	呼吸・循環系障害の理学療法は解剖学や生理学の知識を必要とし難しい内容が多いと思いますが、まずは実技演習でも説明した「フィジカルアセスメント」の理解から進めてください。
老年期障害理学療法学演習	盆子原 秀三	授業の最後に出席表に簡単な質問を設けています。これにより授業の到達度を把握しているので、授業を通して理解したことを自分の言葉で表す練習をしていただきたいと思います。
伝承東洋医学概論	石丸 圭荘	大学HP講義用ホルダーに当該科目の講義資料を掲載しているので活用してください。

授業科目名	代表教員	コメント
整復医療学概論	大澤 裕行	常に全身全霊で授業を行っているので、学生に柔道整復師としての「熱き志」と社会で役立つ人材となる素養を植え付けたいと願っている。
スポーツトレーニング概論	野田 哲由	講義のみではなく、トレーニング実践を多く取り入れた双方向性の授業展開を図っていきます。最新トレーニング方法のトピックスも取り入れていきます。ぜひ、積極的に受講してください。
整復ケア骨損傷学 I	大澤 裕行	見易いパワーポイント、簡潔な配布資料、実践的臨床ビデオ、骨折骨模型供覧など、より深い理解が得られる授業を心掛けたい。
整復ケア軟部組織損傷学 I	白石 聖	必修授業ですので、全ての学生が知っておく知識です。真剣に取り組んでください。
基礎後療学演習	白石 聖	多くの治療機器に触れることができる授業です。機器の扱い方、危険性を十分理解して真剣に取り組んでください。
臨床整復医療実習 I	大澤 裕行	臨床実習に行ける頻度が少ないことから、臨床ビデオや臨床写真などあらゆるツールを駆使して、より実務的、より実践的、より臨床的実習授業を心掛けてゆきたい。
整復医療特論	白石 聖	実技を多く取入れた授業だったので学生のほとんどは積極的に参加し真剣に取り組んでくれました。
東洋医療臨床論	石丸 圭荘	実技を実施しますので、解らないことは何でも質問してください。
学校保健Ⅱ(精神保健)	橋本 和幸	・中学生および高校生に起こりうるメンタルヘルス上の問題を、わかりやすく伝えていきたいと考えている。 ・来年度以降は、シラバスに記載する内容を検討し直したい。
養護概論	石崎 トモイ	全体的にも理解できたことが結果に示されていたので、今後もレジュメや参考資料の充実に努め、魅力ある授業の展開を目指す。
教育制度論	井上 正志	率直に言って、真剣に教員になろうとする学生であるなら、まずは真面目に(予習・復習を欠かさないで)「教職科目」を履修しなければなりません。 それというのも、教職員免許法で「教職科目」を履修することが課せられるのは、単に「教員免許を得たい人」のために、しぶしぶ不平たらたらの履修を許すためにあるものではありません。 そうではなく、それら科目群は、実際の教員の仕事かどのように困難であるかを、また子どもたちの学習がいかに難しくもあり、面白くもあるかを体得させるための(トータルな)科目群です。 ですから、いろいろな困難を自ら進んで克服しようとしないで、自分の努力で学び究め続ける姿勢と態度に欠けるなら、たえず学び続けようとしている子どもたちの模範になることはできないでしょう。 素直に学び続けようとしない学生は、教師になることはできないのはもちろんのこと、教員免許を取得してはならないのです。 なぜなら、苦勞を厭わないで学ぶことをしない免許取得者とは、教職倫理に欠ける欺瞞的な「教員になれなかった人」以外のなにものでもないからです。

授業科目名	代表教員	コメント
進路指導論(整)	井上 正志	<p>率直に言って、真剣に教員になろうとする学生であるなら、まずは真面目に(予習・復習を欠かさないで)「教職科目」を履修しなければなりません。</p> <p>それというのも、教職員免許法で「教職科目」を履修することが課せられるのは、単に「教員免許を得たい人」のために、しぶしぶ不平たらたらの履修を許すためにあるものではありません。</p> <p>そうではなく、それら科目群は、実際の教員の仕事がどのように困難であるかを、また子どもたちの学習がいかに難しくもあり、面白くもあるかを体得させるための(トータルな)科目群です。</p> <p>ですから、いろいろな困難を自ら進んで克服しようとしなくて、自分の努力で学び究め続ける姿勢と態度に欠けるなら、たえず学び続けようとしている子どもたちの模範になることはできないでしょう。</p> <p>素直に学び続けようとしなくて、教師になることはできないのはもちろんのこと、教員免許を取得してはならないのです。</p> <p>なぜなら、苦勞を厭わないで学ぶことをしない免許取得者とは、教職倫理に欠ける欺瞞的な「教員になれなかった人」以外のなにものでもないからです。</p>
進路指導論(芸)	井上 正志	<p>率直に言って、真剣に教員になろうとする学生であるなら、まずは真面目に(予習・復習を欠かさないで)「教職科目」を履修しなければなりません。</p> <p>それというのも、教職員免許法で「教職科目」を履修することが課せられるのは、単に「教員免許を得たい人」のために、しぶしぶ不平たらたらの履修を許すためにあるものではありません。</p> <p>そうではなく、それら科目群は、実際の教員の仕事がどのように困難であるかを、また子どもたちの学習がいかに難しくもあり、面白くもあるかを体得させるための(トータルな)科目群です。</p> <p>ですから、いろいろな困難を自ら進んで克服しようとしなくて、自分の努力で学び究め続ける姿勢と態度に欠けるなら、たえず学び続けようとしている子どもたちの模範になることはできないでしょう。</p> <p>素直に学び続けようとしなくて、教師になることはできないのはもちろんのこと、教員免許を取得してはならないのです。</p> <p>なぜなら、苦勞を厭わないで学ぶことをしない免許取得者とは、教職倫理に欠ける欺瞞的な「教員になれなかった人」以外のなにものでもないからです。</p>
スポーツコーチング論	越田 専太郎	<p>本講義の内容に関する学生の興味や関心は高い。スポーツコーチング論の講義内容は多岐に渡り、必ずしも連続的な構成ではなかった。今後はシラバスの内容も含めて改善を検討していく。</p>
アスレティックトレーナーの役割	上岡 尚代	<p>当該授業はアスレティックトレーナーの現場で活躍の様子に触れる最初の授業であり、教科書に沿って、活動の様子がイメージできるよう動画・映像で見せることを意識し、授業を展開した。更に、学習意欲を高められる様工夫したい。</p>